

平成24年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	第5回アフリカ開発会議開催関係経費			担当部局庁	中東アフリカ局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度			担当課室	アフリカ第1課 アフリカ第2課			課長 志水史雄 課長 麻妻信一	
会計区分	一般会計			施策名	I-6 アフリカ地域外交				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省組織令第58条及び第62条			関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アフリカ開発に関する世界最大級のフォーラムである第5回アフリカ開発会議(TICAD V)及び関連事業を開催する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成25年6月横浜において、アフリカ各国・国際機関・ドナー国・NGO・関係省庁・民間企業・有識者等の参加により、アフリカ開発に関する世界最大級のフォーラムである第5回アフリカ開発会議(TICAD V)を開催するとともに、第2回野口英世アフリカ賞授賞式及び関連サイドイベントを実施する。								
実施方法	■直接実施 □委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
			当初予算	—	—	—	—	1,083	
			補正予算	—	—	—	—		
			繰越し等	—	—	—	—		
	計	—	—	—	—	1,083			
	執行額		—	—	—				
執行率(%)									
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)
	目標:アフリカ各国及び国際機関等からの参加を得て本件会議を開催し、今後のアフリカ開発の推進に貢献する。 実績:アフリカ参加国数			成果実績	ヶ国	—	—	—	54
				達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	25年度活動見込
	平成25年6月に第5回アフリカ開発会議を開催する。			活動実績 (当初見込み)	回	—	— ()	— ()	— (1)
単位当たりコスト	1,083(百万円/回)			算出根拠	25年度予算要求額÷開催予定会合数				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	国際会議開催費	0	1,083						
計	0	1,083							

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		アフリカ開発全般を扱うTICAD Vはアフリカ首脳等が参加する大型国際会議であり、外務省が実施することが適当。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		－
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名		
－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			
点検結果	TICAD Vは、アフリカ開発に関するあらゆる事案を包括的に議論する会議であり、内容的には、多くの省庁や機関が関係するものであるが、事業の目的はあくまでアフリカの開発であるため、外務省が主管とすることが適当である。実施にあたっては、会議の効率的な開催に努める。			
予算監視・効率化チームの所見				
		事業について精査した結果、一部事業の縮小		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）				
		－		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー		－	平成23年行政事業レビュー	－

平成24年行政事業レビューシート (外務省)										
事業名	中東・アラブ連盟との対話強化			担当部局庁	中東アフリカ局			作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度開始・未定			担当課室	中東第一課			長岡 寛介		
会計区分	一般会計			施策名	I-5 中東地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第2項, 第3項 外務省組織令第59条第4項, 第5項			関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日・アラブ連盟間の政治対話・文化協力の面でより恒常的な連携の深化及び、アラブ連盟に所属する各国やマグレブ諸国との対話強化。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	アラブ連盟事務局及びマグレブ諸国との中東和平問題やシリア問題等中東地域情勢に関する協議。 外部有識者によるマグレブ諸国の政情実態調査。									
実施方法	■直接実施 □委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 ■その他									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
			当初予算	—	—	—	—	3		
			補正予算	—	—	—	—			
			繰越し等	—	—	—	—			
	計		—	—	—	—	3			
	執行額		—	—	—					
執行率(%)		—	—	—						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
	日本とアラブ連盟及びマグレブ諸国との連携強化			成果実績	回	—	—	—	2	
	アラブ連盟及びマグレブ諸国との協議回数			達成度	%	—	—	—		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	25年度活動見込	
	中東和平問題やシリア問題等中東地域情勢に関する協議を行うため等の出張回数			活動実績 (当初見込み)	回	— —	— (—)	— (—)	— (3)	
単位当たりコスト	760 (千円/1回)			算出根拠	平成25年度予算要求額/出張予定回数					
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由						
	その他(旅費)	0	2							
	外部委託	0	0.8							
計	0	3								

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		シリア問題を始めとする中東情勢は国民の関心も高く、また、我が国のエネルギー政策にとっても重要な地域である中東の平和と安定に向けた本事業は、国として、積極的に実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		－
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名		
－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			
点検結果	予算の執行に当たっては単位当たりのコストの削減に努めつつ執行していく。			
予算監視・効率化チームの所見				
		－		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）				
		－		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー		－	平成23年行政事業レビュー	－

平成24年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	サウジアラビアとの政策対話セミナー			担当部局庁	中東アフリカ局			作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度	平成25年度 (予定)			担当課室	中東第二課			課長 中込 正志	
会計区分	一般会計			施策名	中東地域外交に必要な経費				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第二・三項			関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	サウジアラビアが益々その重要性を深めている中、我が国として同国と引き続き重層的な関係の構築に努めていく必要がある。重層的な関係を中長期的に更に強化・深化していくために、従来からの政府レベルでの協議・対話とは別に、未来志向で諸々の分野におけるあるべき両国関係や二国間協力について率直に議論する政策セミナーを開催し、サウジアラビアのニーズや考え方を把握する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	政府の役職にはついていない若手王族や、若手財閥関係者・知識人をはじめとした若年層を関与させて、日サウジアラビア関係の強化・重層化を率直に議論するセミナーを開催する。								
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
			当初予算	—	—	—	—	3	
			補正予算	—	—	—	—		
			繰越し等	—	—	—	—		
	計		—	—	—	—	3		
	執行額		—	—	—				
執行率 (%)		—	—	—					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)
	サウジアラビアとの関係強化等が目標 【セミナー参加者数】			成果実績	参加者数	—	—	—	40
				達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	25年度活動見込
	セミナー開催回数			活動実績 (当初見込み)	回	—	— (—)	— (—)	— (1)
単位当たりコスト	3 (百万円/1会合)			算出根拠	25年度予算要求額÷開催予定会合数				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	その他	0	3						
	計	0	3						

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		本件は我が国のエネルギー資源にとって重要な位置づけとなっているサウジアラビアとの関係を強化するものであり国民の関心も高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	—	利用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、使途・費目・	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		—
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		—
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	※類似事業名とその所管部局・府省名			
—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			
点検結果	コスト削減に努めながら有用な議論が行われるよう政策セミナーの開催を工夫していく。			
予算監視・効率化チームの所見				
		—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）				
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー		—	平成23年行政事業レビュー	—